



平成24年5月14日

各位

会社名 株式会社 銀座山形屋
代表者名 代表取締役社長 山形 政弘
(JASDAQ・コード番号8215)
問合せ先
役職・氏名 管理本部長 渡辺 光潤
電話 03-6680-8711

特別損失の発生および業績予想との差異に関するお知らせ

当社は、特別損失を計上するとともに、平成24年3月期決算における業績予想(平成23年5月13日発表)と実績(平成24年5月14日)に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生について

(1)減損損失

営業活動から生ずる損益がマイナスであり、また継続してマイナスとなる見込みである店舗について第3四半期会計期間までに既に計上した8百万円と合計して104百万円計上しております。

(2)関係会社貸倒引当金繰入額

連結子会社について業績および回収可能性を勘案し、個別ベースで関係会社長期貸付金に対し373百万円を計上しております。

2. 平成24年3月期連結業績予想数値との差異(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	4,355	△157	△100	△108
今回修正発表(B)	4,225	△226	△91	△224
増減額(B-A)	△130	△69	9	△116
増減率(%)	△3.0	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	4,362	△277	△204	△405

3. 平成24年3月期個別業績予想数値との差異(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	374	114	△135
今回修正発表(B)	374	185	△231
増減額(B-A)	0	71	△96
増減率(%)	0.0	62.6	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	376	127	△424

4. 修正の理由

(1)連結業績

当社グループの連結業績につきましては、景気の先行き不透明等厳しい消費環境下においてオーダーメイドスーツの売上高は減少傾向に歯止めがかかり始め、販売費及び一般管理費の削減にも務めました。既製・洋品売上高の減少幅を補えきれず前回予想を下回る見通しとなりました。当期純利益については減損損失104百万円を特別損失に計上したこと等により前回予想の数値を下回る見通しとなりました。

(2)個別業績

経常利益は貸倒引当金の戻入 32 百万円並びに、管理・企画部門の移転に係る原状回復費用と当該物件の資産除去債務との差額 12 百万円を営業外収益として計上したこと等により前回予想を上回ることとなりました。当期純利益については関係会社貸倒引当金の繰入 373 百万円を特別損失に計上したことにより前回予想の数値を下回る見通しとなりました。

以上

※ 業績予想に関する留意事項

上記の予想数値は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。